

香りの高い新現地試作系統「ナシ福島4号」

福島県農業総合センター 果樹研究所

1 部門名

果樹 - ナシ - 育種・選抜

2 担当者

大橋義孝 岡田初彦 佐藤守

3 要旨

大果で食味の優れた早生種及び耐病性を有し、栽培しやすく貯蔵性に優れた中晩生品種のナシを育成するため、第2期交雑実生から有望系統を選抜している。有望系統の中で、前年度に現地試作系統として選抜したナシ福島4号の栽培特性の検討を行った。

- (1) 平成12年「あきづき」を種子親として、「幸水」を花粉親として交配した。
- (2) 扁円で有蒂果の赤ナシで、外観は良好である。適熟果は果汁、シャリ感あり、肉質も良いが、地色が緑色強いと糖度が低く、地色が完全に抜けると、シャリ感は低下するため、地色が抜けかかった頃が適熟と推察された。
- (3) 果実品質は、果肉色が白で、みつ症は見られず、「幸水」に似た強い独特の香りがある。果実重は原木で約340～400g、高接ぎ樹で520g程度であり、糖度は12～13%、pH5.0～5.4と酸はほとんど無く、甘味系で食味良好である(表1)。
- (4) 収穫時期は、結実1～2年目は「豊水」より約10日以上遅く、「新高」より約10日早かった。結実3～4年目は、「豊水」とほぼ同時期の収穫となった。花芽着生については、所内高接ぎ樹の花芽分化率が52.4%であり、腋芽果の着生は「幸水」並みと推察された。
- (5) 果実肥大は短果枝と腋芽果ともに同様の傾向が見られ、短果枝の果実のほうがやや扁円で推移した。また、交雑組合せから黒斑病は抵抗性、黒星病は罹病性と推察された。
- (5) 試食検討会における官能検査では、「あきづき」と比較し外観で少し劣るまたは同等とするパネラーが多かった。食味は「あきづき」と同等とする回答が多く、「香り」「甘味」で評価が高かったが、「シャリ感」は少し弱いとの回答が多かった。総合評価は少し劣るとするパネラーが多かった。

表1 「ナシ福島4号」の特性

系 統	調査年	満開日	収穫始	収穫終	果重(g)	糖度(%)	pH	硬度(lb.)
鳥川原木	2006	-	10月2日	10月2日	407	13.2	5.4	4.3
	2007	5月3日	10月4日	10月10日	363	13.2	5.2	4.4
	2008	4月27日	9月22日	9月26日	337	11.9	5.1	5.5
	2009	4月22日	9月17日	9月18日	379	13.0	5.0	4.8
鳥川豊水	2009	4月20日	9月15日	9月24日	442	13.9	4.7	4.6
所内高接	2008	4月25日	9月25日	9月25日	522	13.0	5.4	4.6
	2009	4月22日	9月17日	9月17日	521	12.7	5.0	4.6
所内豊水	2009	4月21日	9月10日	9月17日	440	13.0	4.6	3.7
所内あきづき	2009	4月22日	9月29日	9月29日	558	13.3	4.8	3.8

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18～21年度試験研究成績書